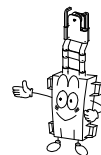


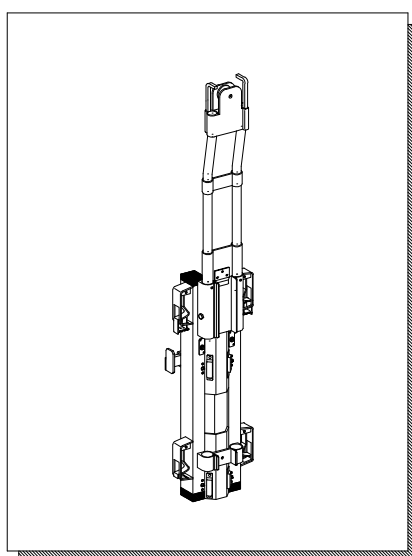
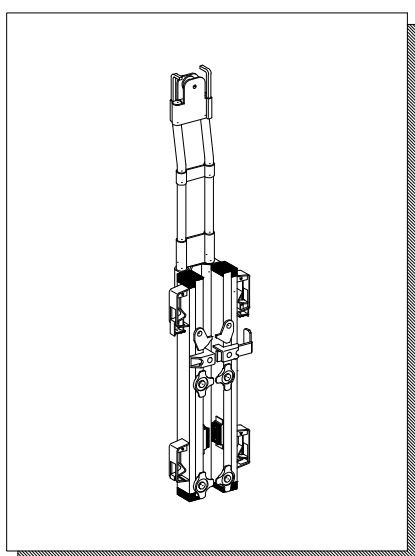
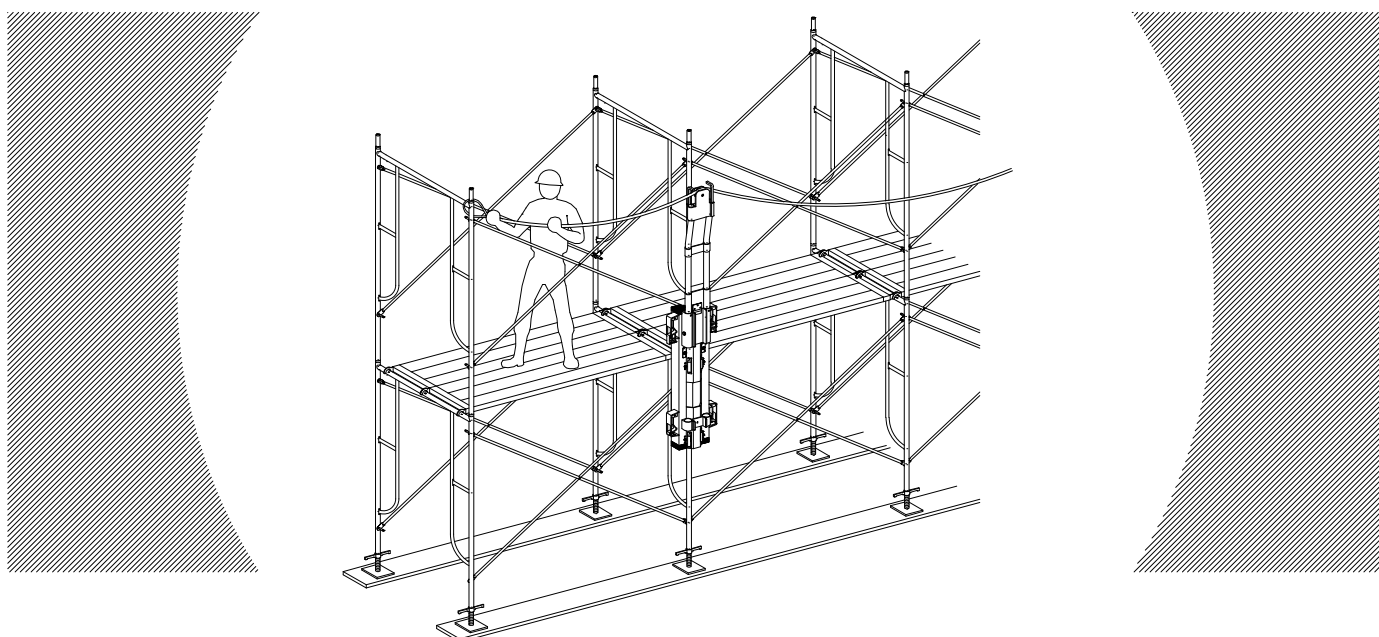
画期的

# ラックガードシステム ARG-200/OP



## 親綱支柱 取扱説明書

(社) 仮設工業会認定品 PAT. P 国際出願中



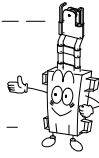
リーラック機材株式会社

## 1. ご使用になる前に必ずお読みください！

- このたびは本製品をお使い頂きありがとうございます。
- この取扱説明書は、本製品の使い方と使用上の注意点について書かれています。
- 製品をお使いになる前に必ずこの説明書をお読みになり、本製品の内容を十分に理解してから正しく安全にお使いください。
- また、お読みになった後も、この説明書をすぐ取り出せる所へ大切に保管してください。

## 2. 目次

	ページ
1. ご使用になる前に必ずお読みください！	1
2. 目次	1
3. ラックガードシステム親綱支柱の特長	1～2
4. 安全上のご注意 必ずお守りください！	3
5. 各部の名称	4
6. ラックガード親綱支柱組立手順	5～8
7. 保管の仕方	9
8. お困りになったら・・・	9

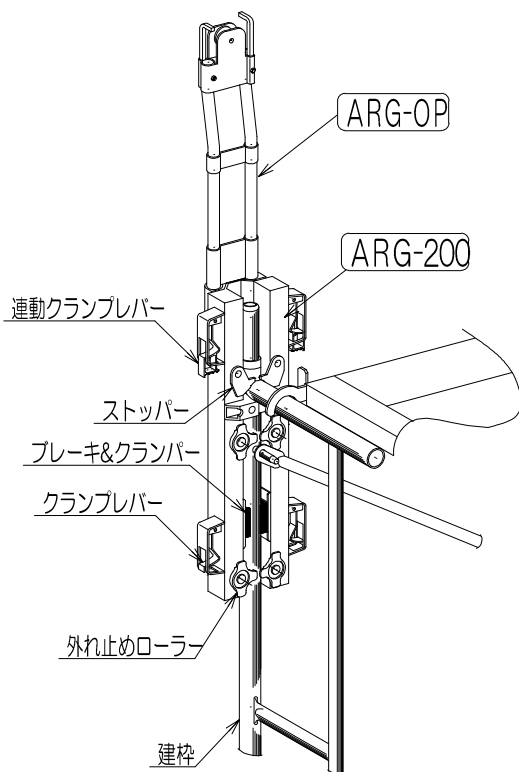


## 3. ラックガードシステム親綱支柱の特長

ラックガードシステムは従来の親綱支柱の問題点を解決した画期的な商品です！

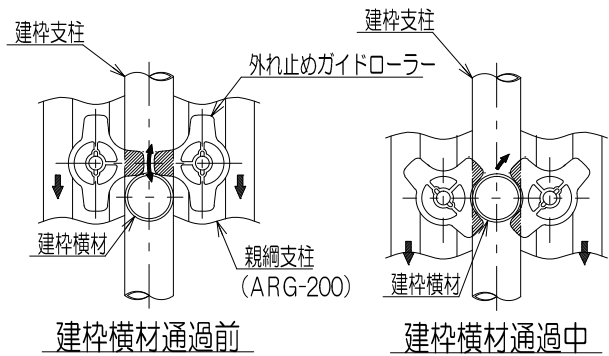
- ① ラックガードシステム親綱支柱は、軽く、さびにくいアルミ合金製の親綱支柱です。
- ② 1層分の親綱支柱（ARG-200/OP）があれば、足場の組立・解体作業が安全に行なえ経済的です。
- ③ 親綱支柱の上下移動や固定は建枠から取り外すことなく1人で簡単に行なえます。
- ④ 親綱支柱の移動の際、もし、手を離しても瞬時にブレーキ装置が作動し落下することはありません。（図1）
- ⑤ 外れ止めガイドローラーが常に建枠支柱を保持する構造の為、建枠横材通過時にも脱落しません。（図1，図2）
- ⑥ 親綱支柱は建枠支柱に沿って上下移動するため、建枠やピッチのズレにも全く関係なくスムーズに使用できます。
- ⑦ 先行手摺（ARG-100）を併用することにより高所での作業もより安全に行なうことができます。（図3）
- ⑧ ラックガードシステム親綱支柱の組立・解体には工具は不要です。

【図1 親綱支柱 (ARG-200/OP)】



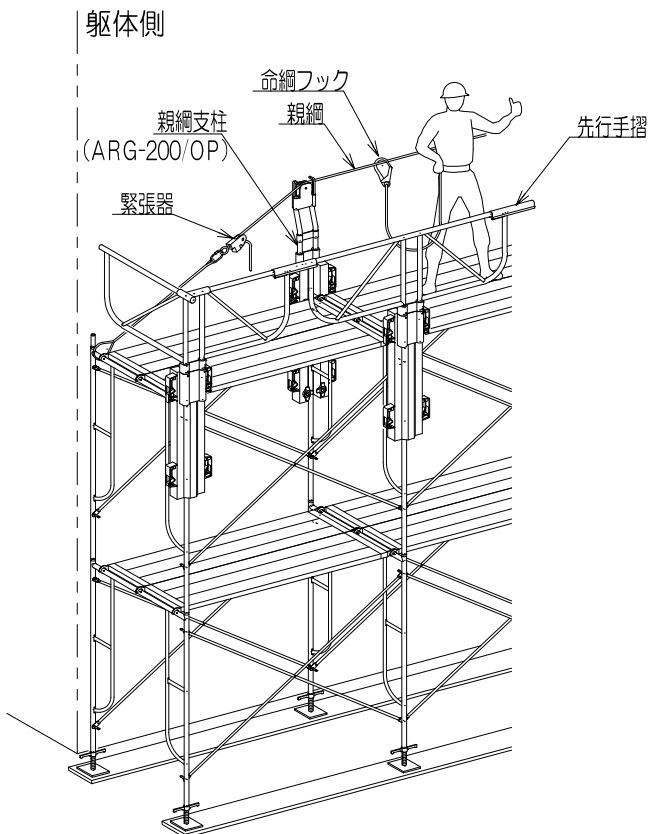
【図2 外れ止めガイドローラー】

■外れ止めガイドローラーのどこか(図の斜線部)が常に建枠支柱に掛かっているため、建枠横材通過時にも脱落しません。



【図3 手摺の併用】

■図のように先手摺を併用し、安全に高所作業ができます。



## (社) 仮設工業会認定品

■ラックガードシステム(親綱支柱)は下記の強度基準に合格しています。

### 2種親綱支柱の性能基準

#### 落下阻止性能試験

控え綱を併用し支柱間9.145m(インチサイズ5スパン)に張られたロープ中央に85kgの重りを自由落下させ、

- 1) 支柱各部に折損及び亀裂が無く、かつ離脱しない事
- 2) 親綱保持金具から親綱用具が離脱しない事

## 4. 安全上のご注意 必ずお守りください!

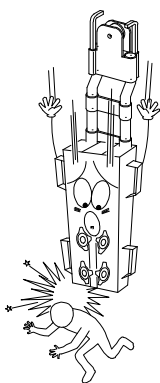
■ラックガードシステム親綱支柱を安全に正しくお使いいただくため、製品本体や取扱説明書に表示の、危険・警告・注意の指示は特に注意してお読みください。

〔表示マークの説明〕

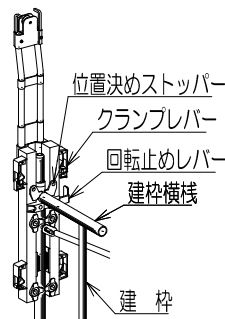
- ⚠ **危険** 記載されている内容を守らず取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定され、かつ危険発生時の警告の緊急性（切迫の度合い）が高い限定的な場合を示します。
- ⚠ **警告** 記載されている内容を守らず取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合を示します。
- ⚠ **注意** 記載されている内容を守らず取り扱いを誤った場合に、軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する状態が生じることが想定される場合を示します。

### ⚠ 危険

- ⚠ 親綱支柱に曲がり、亀裂等があったり、正常に作動しない物は絶対に使用しないで下さい。  
■親綱支柱が落下したり、親綱が外れたりすると死亡、物損事故の原因となります。

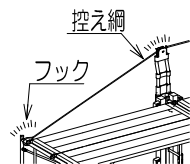


- ⚠ 変形、破損のある足場には絶対使用しないで下さい。  
■親綱支柱が外れる原因となり、外れると本体が落下し、死亡、物損事故の原因となります。

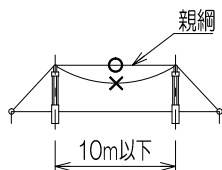


- ⚠ 建柱への固定は確実に行って下さい。位置決めストッパーが建枠横材に当たる位置でクランプレバーを閉じ、回転止めストッパーを確実に差し込んでください。

- ⚠ 親綱支柱使用の際は必ず控え綱をして下さい。その時、親綱端部フックを控え柱へ固定するときや親綱支柱へのセットは確実に行って下さい。



- ⚠ 親綱支柱のスパンは10m以下として下さい。
- ⚠ 親綱はゆるみのないようにしっかり張って下さい。
- ⚠ 親綱支柱システムは1スパン1人での使用として下さい。

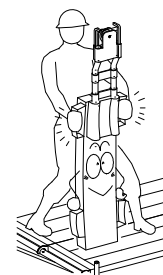


- ⚠ 親綱支柱や親綱に乗ったり、ぶら下がったり、無理な力で押さないで下さい。  
■親綱支柱が変形したり破損の原因になります。また、落下すると死亡事故につながる危険があります。



### ⚠ 警告

- ⚠ 親綱支柱の上げ下ろし時にはしっかりレバーを持って行って下さい。  
■親綱支柱と建柱支柱で手をはさまれ、けがをする危険があります。
- ⚠ 改造や分解は絶対にしないで下さい。  
■正規の機能が損なわれ脱落事故などの原因となります。（必要な場合はメーカーにご相談ください）
- ⚠ 使用する建柱支柱のパイプ径は42.7mmです。それ以外のパイプには使用できません。  
■建柱支柱のパイプ径が不適切ですと脱落や破損の原因となります。



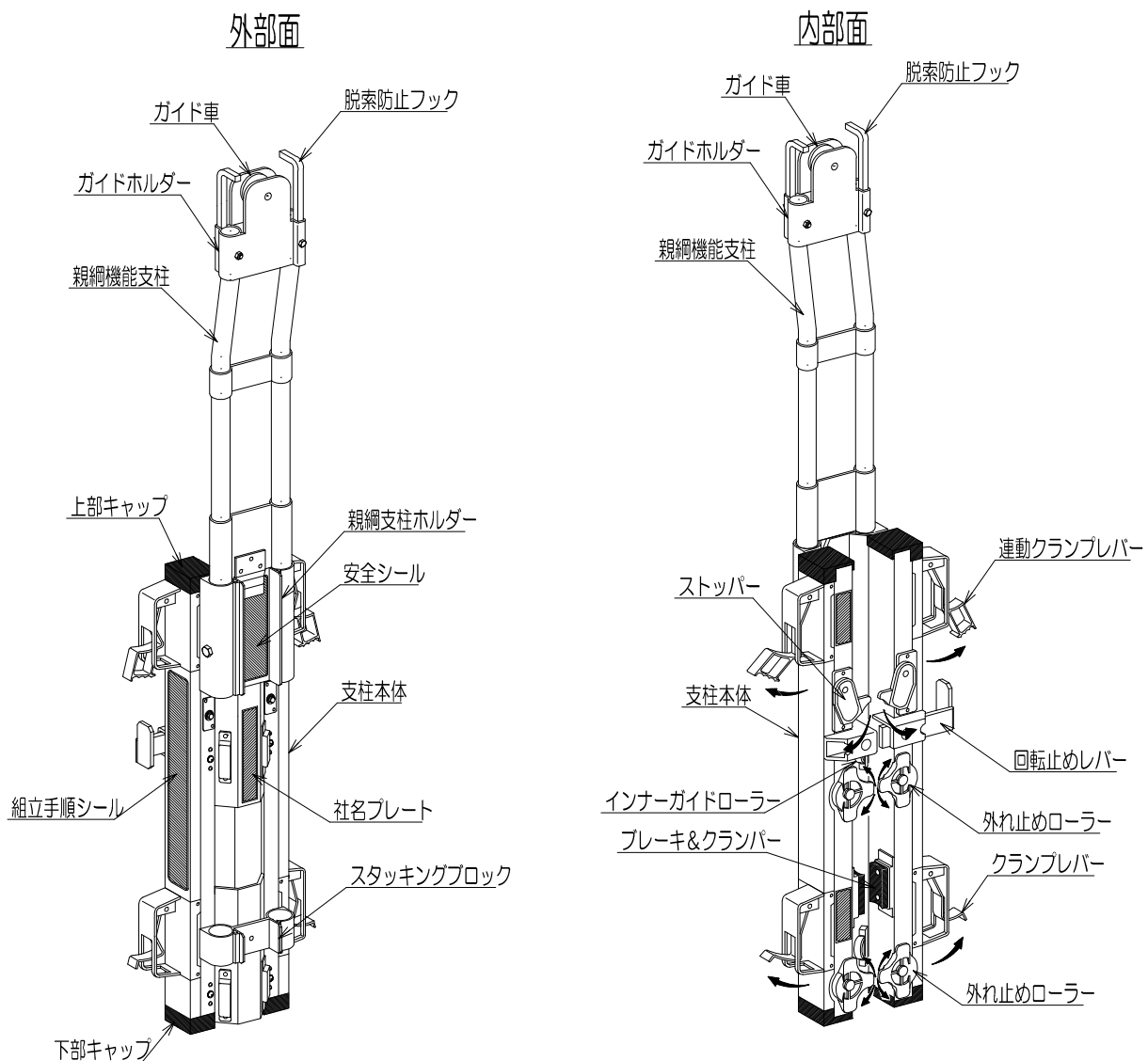
### ⚠ 注意

- ⚠ 親綱及び緊張器は(社) 仮設工業会の認定品をご使用下さい。
- ⚠ 引きずったり投げたり、乱暴な扱いはしないで下さい。  
■変形、破損の原因となります。

## 5. 各部の名称

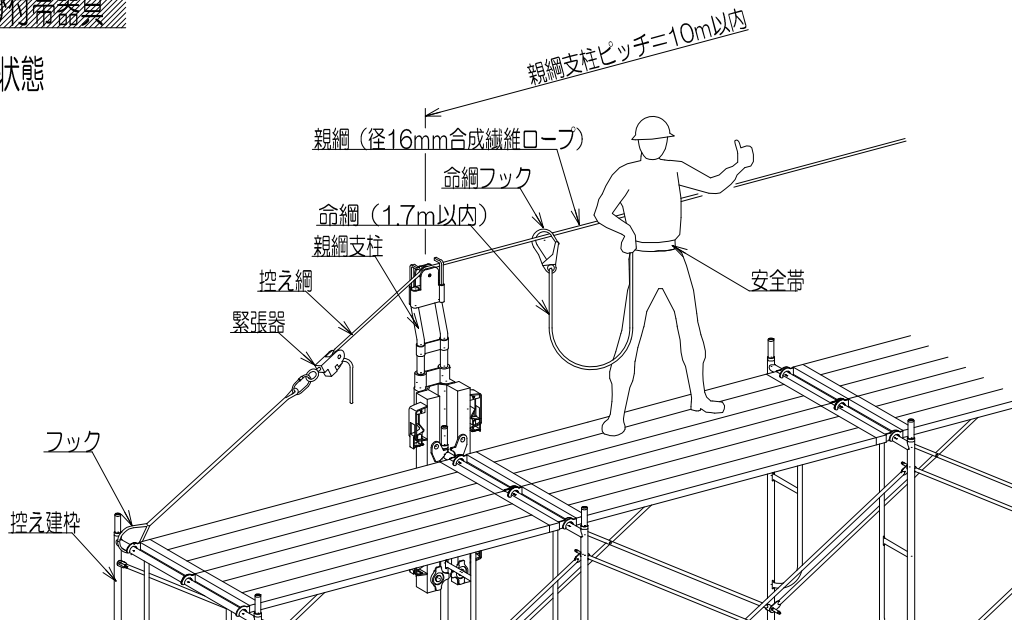
■ラックガードシステム親網支柱の使用における各部の主な名称です。

ラックガード親網支柱 【ARG-200/OP】



## 親網および付帯器具

使用状態

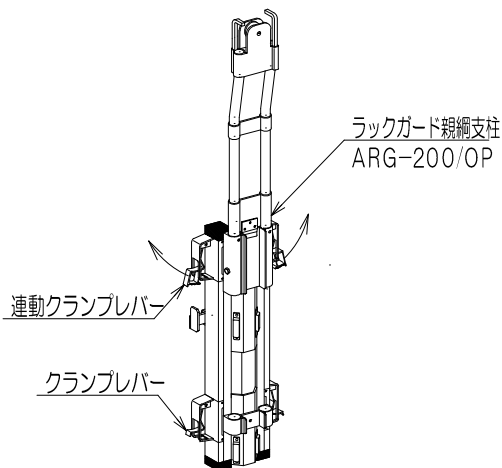


## 6. ラックガード親綱支柱組立手順

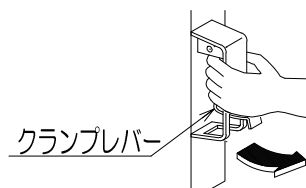
### 組立前に

1. ラックガードシステム親綱支柱は①～⑧の手順で組立てます。組立手順をよくお読みになり安全に作業してください。
2. 足場は（社）仮設工業会発行の「基本部材で構成する・わく組足場の使用基準」に準じて組立て下さい。
3. 組立手順の中でラックガード親綱支柱の「クランプを開く」、「クランプを閉じる」という表現はクランプレバーを下図のように操作し、ラックガード親綱支柱を移動させたり、固定したりすることです。

#### ■ラックガード親綱支柱を移動させるとき「クランプを開く」



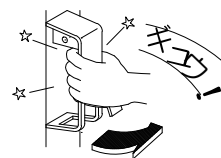
「クランプを開く」とは、クランプレバーまたは連動クランプレバーを軽く握ることによってクランプを解除することです。ただし、この時点ではブレーキは効いています。



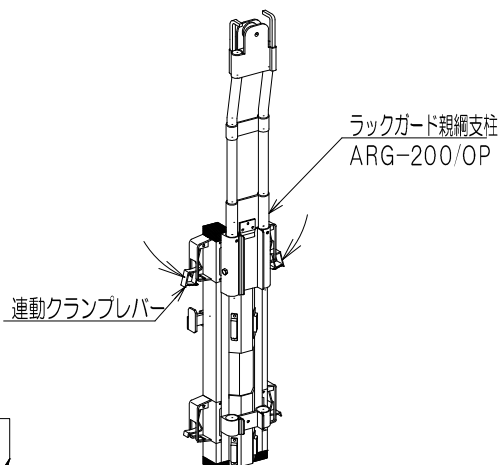
連動クランプレバーが握れない時は下図のように手の平で操作してください。



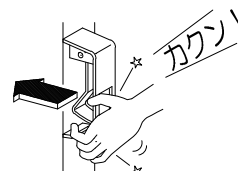
レバーをいっぱい握ることによりブレーキが解除されます。同時に横棧に掛かっているストッパーも解除され、ラックガード本体を上下に移動できます。



#### ■ラックガード親綱支柱を固定させるとき「クランプを閉じる」



「クランプを閉じる」とは、ブレーキの効いた状態で両側のレバー端部を「カクン！」となるまで押し込むことです。ラックガード親綱支柱を完全に固定することが出来ます。

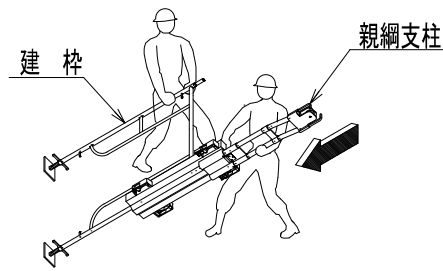


---

## ① 親綱支柱の取付

---

1. 親綱支柱を建枠に上部から差し込み、クランプレバーを操作して建枠下方まで降ろします。

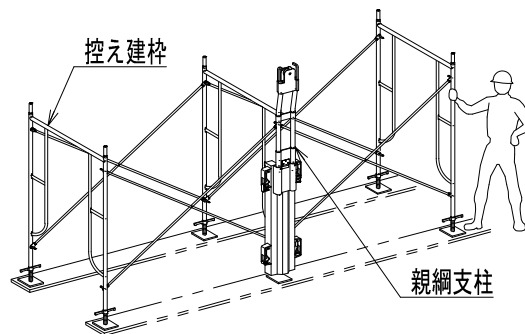


---

## ② 建枠の連結

---

1. 親綱支柱を取付けた建枠と、控え建枠を連結します。

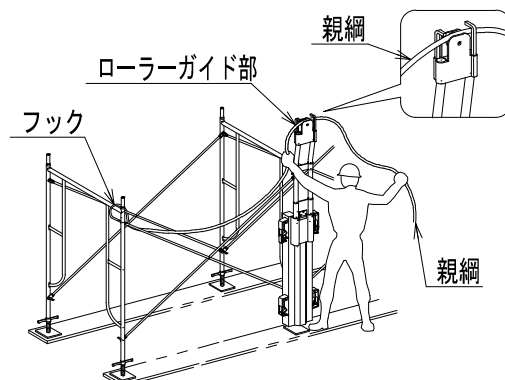


---

## ③ 親綱の取付

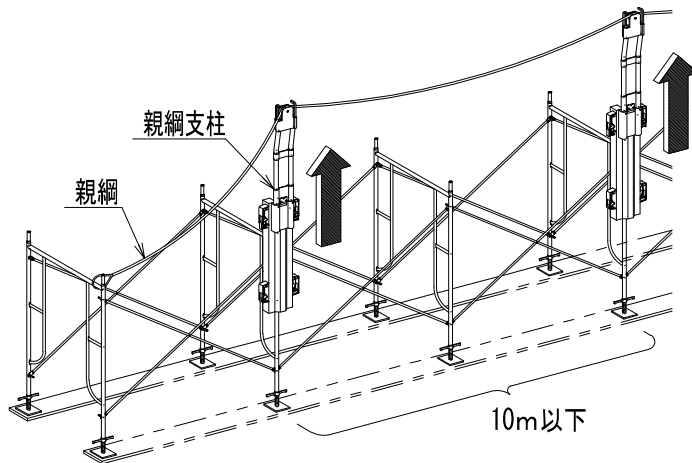
---

1. 控え建枠に親綱端部のフックまたはカラビナを固定し、親綱支柱のローラーガイド部に親綱を通します。



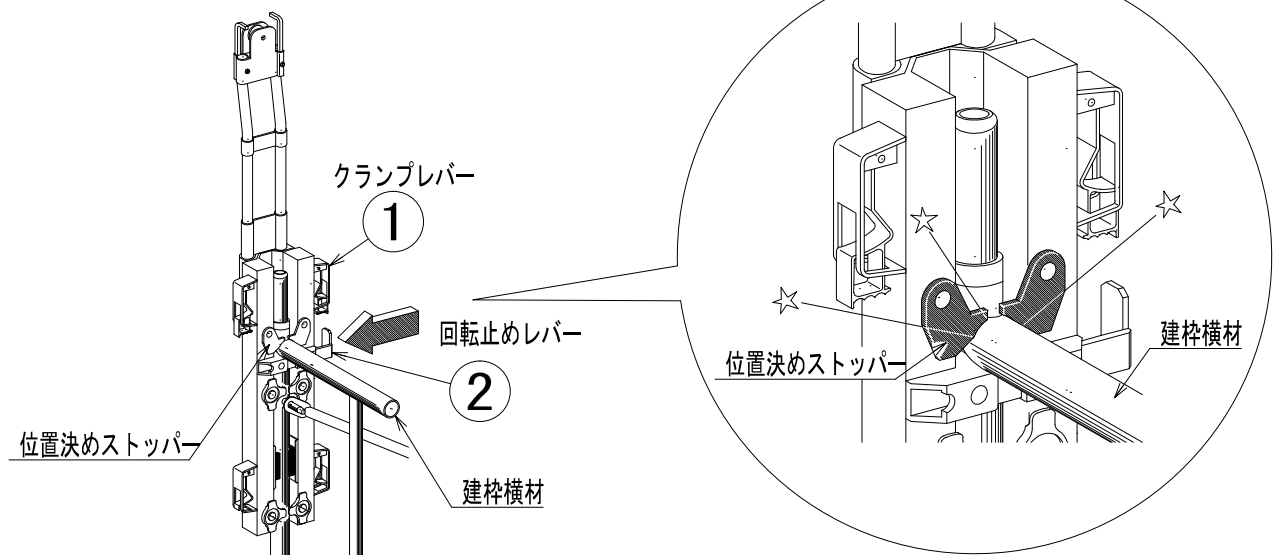
## ④ 親網支柱のセット

1. 親網をセットした状態で親網支柱を上段に移動しセットします。



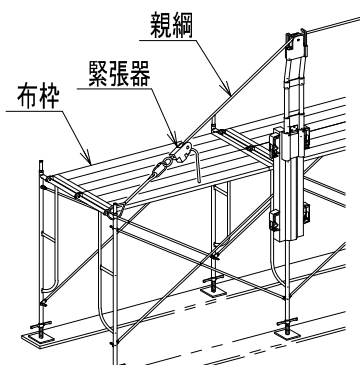
## ⑤ 親網支柱の固定

1. 位置決めストッパーが建枠横材に当たる位置でクランプレバーを閉じます。
2. 次に回転止めレバーを差し込み建枠に固定します。



## ⑥ 親網張り

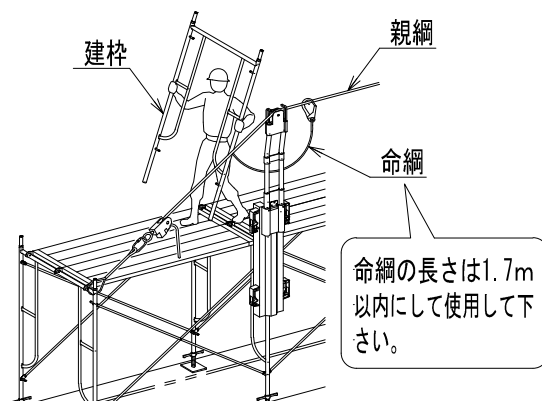
1. 布枠をセットし、次段足場を確保します。
2. 親網両端の固定を確認し、ゆるみのないように張ります。
3. 必要のある場合は緊張器を使用して親網を張ります。





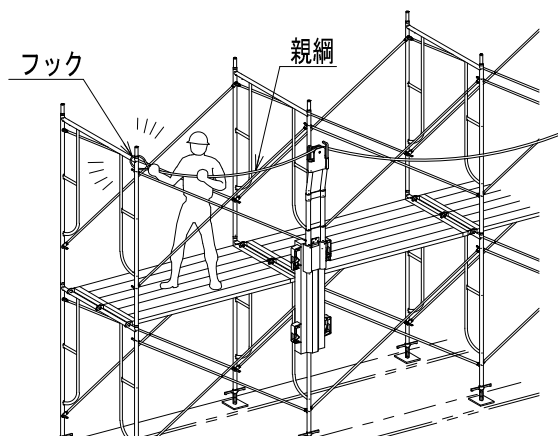
## ⑦ 建柱2層目の組立

1. 命綱を親綱にセットします。
2. 建柱、筋かいを順次取付けます。



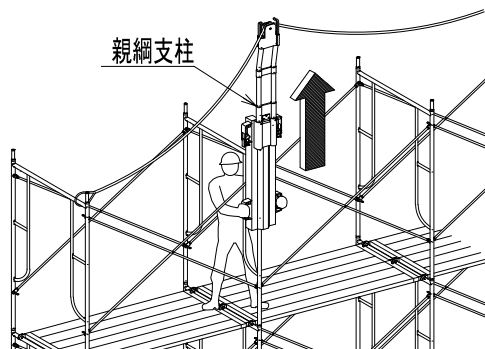
## ⑧ 親綱フックの掛け換え

1. 親綱の緊張をゆるめ両端のフックを上の方の建柱へ掛け換えます。



## ⑨ 親綱支柱の移動

1. 回転止めレバーを解除し親綱支柱を2段目へ移動し、セットします。続いて、5～9の作業を繰り返します。



## ⑩ 解体

1. 1～9の逆の手順で解体します。

## 7. 保管の仕方

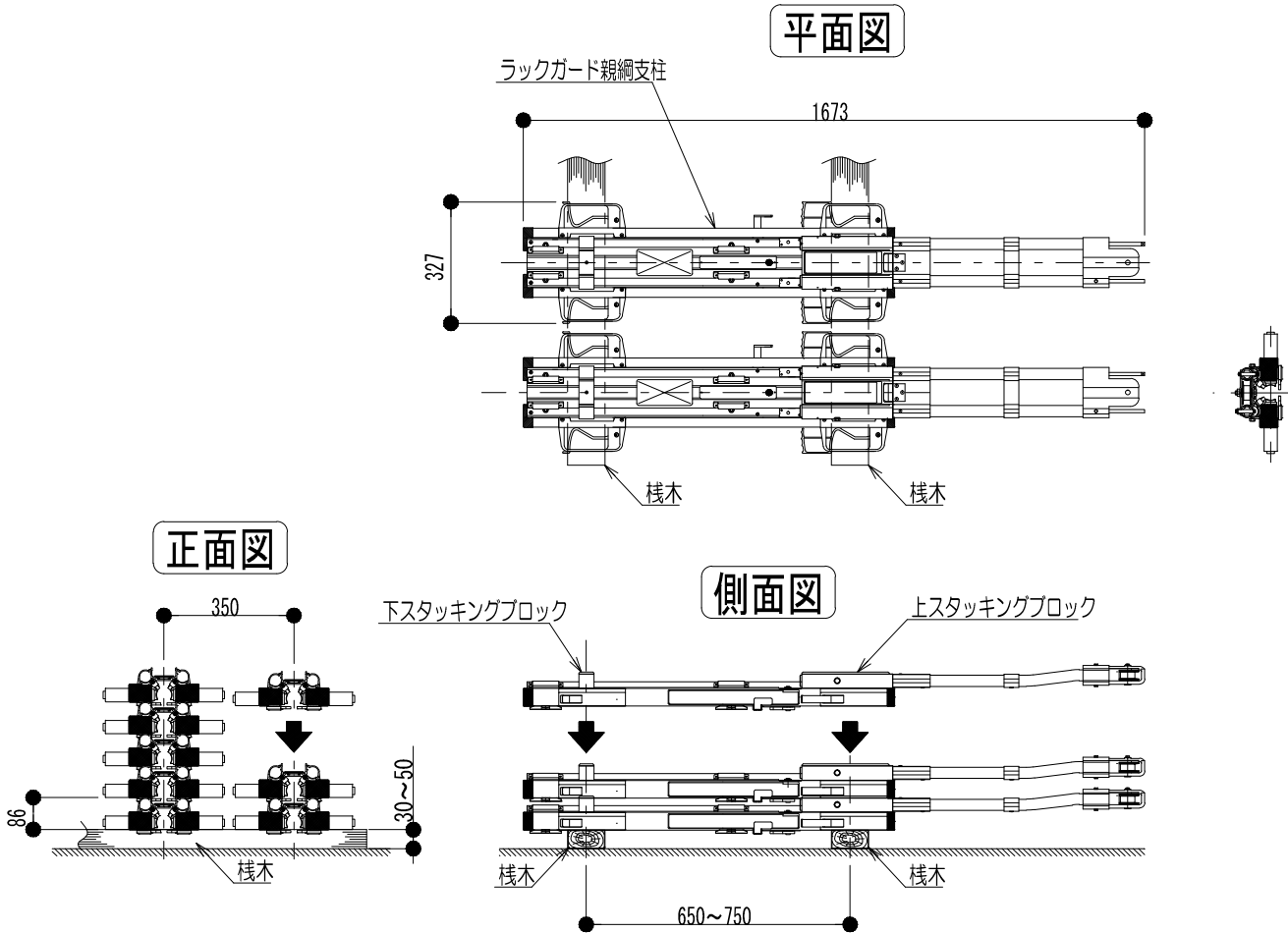
### ラックガード親綱支柱（ARG-200/OP）の保管

ラックガード親綱支柱の保管は専用パレットをご使用になるか、下記仕様による仮保管をして、絶対に直置きはしないで下さい。

#### 仮保管

1. ラックガード親綱支柱本体が直接地面に接しないようにするために栈木を図の間隔で敷いてください。
2. 本体内側側面（ローラー側）を下面にし、本体形材面に当たるように置きます。
3. 下段の本体上下スタッキングブロックに合わせ次の本体を同方向に積載していきます。
4. 5段くらいを目安にバンド掛けをして下さい。

保管場所は雨がつかないように、出来るだけ屋根のある場所をお選びください。止むを得ず長期に野積みする場合は防水シート等で覆い、雨が直接親綱支柱にかからないようにしてください。また、保管場所の地面は水はけの良い場所をお選びください。

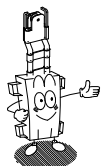


## 8. お困りになったら...

■お困りになったら下記までお問い合わせください。



**リーラック機材株式会社**



〒103-0014

東京都中央区日本橋蛸殻町1-2-1リーラック第一ビル

TEL. 03-3667-7279 (代表)

FAX. 03-3667-7280